

開設年度		開講部局			
2017		共通教育			
科目名					
情報活用		英語科目名			
Information Use					
前後期	開講区分	科目形態	単位数		
前期	毎週	講義	2		
(28年度以降入学生)中分類		(28年度以降入学生)小分類			
初年次教育科目		情報活用			
(25年度以降入学生)中分類		(25年度以降入学生)小分類			
e. コミュニケーション力		20. 情報・通信を学ぶ			
(24年度以前入学生)大区分		(24年度以前入学生)中区分			
情報科学科目		基礎			
受講学部学科					
工4(環境化学)					
担当教員		担当教員所属			
五島崇		鹿児島大学大学院理工学研究科(工学系) 化学生命・化学工学専攻			
連絡先(TEL)		連絡先(MAIL)			
099-285-8368		tgoshima@cen.kagoshima-u.ac.jp			
オフィスアワー(授業時間外の対応)					
【オフィスアワー】各担当教員が指示する。【メール・HP】メールによる質問はいつでも対応する。					
共同担当教員					
水田敬、下之薙太郎					
アクティブ・ラーニング					
4. プрезентーション;					
アクティブ・ラーニング(「その他」の内容)					
アクティブ・ラーニング(授業回数)					
16回中3回					
理念 重要視する教育目標					
2. 情報収集・精査・統合 1) 必要な情報を収集できる					
理念 教育目標					
2. 情報収集・精査・統合 2) 集めた情報を信頼性や必要性に基づき精査できる					
理念 教育目標					
2. 情報収集・精査・統合 3) 個別の知識を統合して課題の解決策を提案できる					
理念 教育目標					
授業概要(目的・内容・方法)					
1. インターネットを活用する際に必要なエチケットを理解し、電子メールによって情報の交換を適切に行える。					
2. インターネットを活用し、情報を取得し、整理することができる。 3. 文書作成に関する表現力等を身につける、適切なスタイルやレイアウトで仕上げることができる。 4. 表計算ソフトの基礎を理解し、データの整理や処理ができる。 5. 適切な表現能力を身につけ、よりよいプレゼンテーション資料の作成ができる。 6. 情報セキュリティーに関して理解をする。					
科目コード : Fce1003					
学習目標					
情報の活用つまり、コンピュータを利用して情報を取得、加工し、さらに役立てることができる能力を身につけることは、非常に重要である。大学での学習はもちろんのこと、将来、技術者や研究者として仕事をするにしても、さらには、就職活動においても不可欠な能力である。この授業ではWindowsを搭載したコンピュータについて、基本的な操作を習得し、情報収集や、データ処理、情報交換について学び、レポート・論文作成等に必要な知識と技術の体得を目指す。さらに分かりやすいプレゼンテーションの作成および方法についても学習する。本講義は、学科の掲げる教育目標である「人類の持続可能な共生社会創出のため、国際的視野から多様な地域社会					

に寄与できる豊かな人間性、社会性、高い倫理観をもつ人材」に対応する。

**授業計画・試験の有無（16回 [初修語は31回]に分け、回数、授業内容、自学自習等）**

第1回	ガイダンス、コンピューターの基礎知識
第2回	コンピューターの基礎知識、情報セキュリティの必要性
第3回	マイクロソフトワードの基礎知識、
第4回	図形や写真を挿入した文書作成、写真の挿入や配置、ソフトウェア間の便利な連携方法も紹介
第5回	テーマを用いたマイクロソフトワード演習(課題1)
第6回	マイクロソフトエクセルの基礎知識
第7回	グラフ作成の基礎
第8回	デザインを整えたグラフ作成
第9回	ソフトウェア間の便利な連携方法も紹介
第10回	テーマを用いたマイクロソフトワード、エクセル演習(課題2,3)
第11回	マイクロソフトパワーポイントの基礎知識
第12回	プレゼンテーション資料作成の基礎、
第13回	アニメーション効果を付けたプレゼン資料作成、ソフトウェア間の便利な連携方法も紹介
第14回	テーマを用いたマイクロソフトパワーポイント演習(課題4)
第15回	テーマに関するインターネット検索を用いたレポート作成(課題5)
第16回	期末試験は行わない（指定期日までにレポートを提出）

**授業外学習(予習・復習)**

授業では講義内容に関する課題を出すので、講義内容の復習に活用すること。また講義の内容をより深く理解するため、教科書以外の情報処理に関連した本を複数読み、コンピュータを利用する事が望ましい。

受講要件	成績の評価基準
特になし	演習（30%）、課題（40%）、時間外学習（30%）とで評価する。2/3以上の出席は必須である。
教科書	参考書
できるWord&Excel&PowerPoint 2016 Windows 10/8.1/7 対応（できるシリーズ）	授業中に適宜紹介する。

**地域志向科目の区分（平成27年度入学生用）**

**その他**